体の動きを高める運動(第6学年)

体の動きを高める運動は、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い 動き、動きを持続する能力を高めるための運動をして、体の様々な動きを高める運動です。本単元例は、1時間の中で二つ の運動から行い方を選んで取り組む時間と、四つの運動から課題を選んで取り組む時間を設定することで、自己の体力に応 じて工夫して運動に取り組むことができる授業を展開するようにしています。

単元の目標

- (1) 体の動きを高める運動の行い方を理解するとともに、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持 続する能力を高めるための運動をすることができるようにする。
- (2) 自己の体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
- (3) 体の動きを高める運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具 の安全に気を配ったりすることができるようにする。

指導と評価の計画(9時間(体つくり運動の12時間のうち))

	·					
	時 間 1		2 3		4	
ねらい 体ほぐしの運動の 学習の見通しをもつ			体ほぐしの運動の行い方を理! 体の関係に気付いたり仲間と関	体の動きを高める運動の 学習の見通しをもつ		
学習活動		オリエンテーション 集合, 挨拶, 健康観察をの学習の見通しをもつの目標と学習の見通しをもつの方を約束を対する。 本時のおりでする。 本時のおりでする解析を対しては、 本時のおりでする。 本時のおりでする。 本時のおりでする。 本時のおりでする。 本時のおりでする。 本時では、 本時では、 本時では、 でするのでする。 本時では、 でするのでする。 本時では、 でするのでする。 本時を振り返り、次時であり、次時では、 でする。 でする。	 体の関係に気付いたり仲間と関わり合ったりすることを楽しむ 集合、挨拶、健康観察をする 本時のねらいを理解して、目標を立てる 場や用具の準備をする 心と体の関係に気付く 準備運動をする。 体ほぐしの運動をする ○学級全体やペア、グループで体ほぐしの運動をする。 ○心と体の関係グラフで、自己や仲間の心と体の関係に気付く。 ○体ほぐしの運動の工夫の仕方を理解する。 自己の心と体の状態に応じた運動の行い方を選んで、体ほぐしの運動をする。 ○運動の行い方の工夫について、自己や仲間が考えたことを伝える。 		オリエンテーション 1 集察 通しの の	
				整理運動,場や用具の片付に		
評	知識・技能	① 観察・学習カード			② 観察・学習カード	
価の重	思考・判断・表現		① 観察・学習カード	③ 観察・学習カード		
点	主体的に学習に 取り組む態度		① 観察・学習カード		⑥ 観察・学習カード	

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
 ①体ほぐしの運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②体の動きを高める運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ③体の柔らかさを高めるための運動をすることができる。 ④巧みな動きを高めるための運動をすることができる。 ⑤力強い動きを高めるための運動をすることができる。 ⑥動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 	①自己の体の状態に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。②自己の体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。③体をほぐすために自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。④体の動きを高めるために自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。	①体ほぐしの運動に積極的に取り組もうとしている。②体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。③約束を守り、仲間と助け合おうとしている。④場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。⑤仲間の気付きや考え、取組のよさを認めようとしている。⑥場や用具、周囲の安全に気を配っている。

5	6	7	8	9	10	11	12
体の動運動の行い	I解し, とを楽しむ	自己の体力に応じた課題や行い方を 工夫して,運動をすることを楽しむ 学習のまとめをする			学習のまとめをする		
1 集合,挨拶	,健康観察をする	i 2 本時のね	らいを理解して,	目標を立てる	3 場や月	」 月具の準備をす	ే
4 準備運動,	 体ほぐしの運動を 	i する					
************************************	 ○運動の工夫の仕方を理解する。 ○自己の体力に応じた運動の行い方を選んで、運動をする。 ○運動の行い方の工夫について、自己や仲間が考えたことを伝える。 ⑥運動の行い方を理解する。 ○運動の行い方を理解する。 ○運動の行い方を理解する。 ○運動の行い方を理解する。 ○ペアやグループで運動をする。 ○運動の工夫の仕方を理解する。 ○ペアやグループで運動をする。 ○運動の工夫の仕方を理解する。 ○自己の体力に応じた運動の行い方を選んで、運動のでは、 		○これま ら,自i 題や行い 6 自己の付 る ○自己の付 を工夫: ○運動の行	本力に応じた過でに学習した でに学習した この体力に応じた選 本力に応じた選 本力に応じた選 する。 行い方を表たこと	運動の中か に運動の課 運動をする。 運動を工夫す 運動の行い方	学習のまとめ 5 体の動きを高める運動をする ○自己の体力に応じて運動の課題や行い方を選ぶ。 ○運動の行い方の工夫について、自己とを伝える。 6 単元を振り返り、る 7 整理運動、場やのまとめをする 7 整理運動、場や用具の片付をする 8 集合、健康観察、挨拶をする	
3・⑤ 観察		④・⑥ 観察					
				② 観察・学習カード		④ 観察・学習カード	
④ 観察・学習カード		③ 観察・学習カード			⑤ 観察・学習カード		② 観察・学習カード

本時の目標と展開①(4/12時間)

本時の目標

- (1) 体の動きを高める運動の行い方を理解することができるようにする。
- (2) 自己の体力に応じて運動の課題や行い方を選ぶことができるようにする。
- (3) 場の危険物を取り除くとともに、安全に気を配ることができるようにする。

本時の	展開					
時間	学習内容・活動	指導上の留意点				
	1 集合,挨拶,健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を理解する。 ○学習をするグループを確認する。 ○学習の約束を理解する。	掲示物を活用するなどしながら、分かりやすく説明する。学習をするグループを事前に決めておく。				
5 分	学習の約束の例 ・用具は正しく使いましょう。・安全に気を配りましょう。・準備や片付けでは分担した役割を果たしましょ	・ 約束を守り、仲間と助け合いましょう。 ・ 仲間の考えや取組を認めましょう。 う。				
	3 本時のねらいを理解して、目標を立てる					
	体の動きを高める運動の学	習の進め方を理解して,学習の見通しをもとう				
	○本時のねらいを理解して,自己の目標を 立てる。	●学習カードを配り、使い方を説明する。				
	4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 ○グループで協力して、準備をする。	役割分担や安全な準備と片付けの仕方を説明する。安全に気を配っている様子を取り上げて、称賛する。				
	場や用具の準備の仕方の例 ・活動をする場所に危険物がないか気を配り、見付けたら取り除きましょう。 ・運動に使う用具がある場所を確認し、グループで分担して取りに行ったり片付けたりしましょう。 ・安全に運動ができるように服装などが整っているか、仲間と互いに気を配りましょう。					
	5 準備運動,体ほぐしの運動をする ○準備運動,体ほぐしの運動の行い方を知る。 ○学級全体やグループで準備運動,体ほぐしの運動をする。	●けがの防止のために適切な準備運動の行い方について,実際に動いて示しながら説明する。				
15	準備運動の行い方の例 肩,腕,手首,腿,膝,ふくらはぎ,足首	首などをほぐす運動を行う。				
分	体ほぐしの運動の行い方の例 ・ラインの上を歩いたり走ったりする。	・バランス崩し				
		○仲間と共に活動することに意欲的でない児童への配慮の例→ 仲間と一緒に運動すると楽しさが増すことを体験できるようにしたり、気持ちも弾んで心の状態が軽やかになることを感じることができるよう言葉がけをしたりするなどの配慮をする。				

6 体の動きを高める運動をする

- ○体の動きを高める運動の行い方を理解す
- ○ペアやグループで体の動きを高める運動 をする。

●体の動きを高める運動の行い方について、学習資料やICT機器 を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。

体の動きを高める運動の行い方の例

- ○体の柔らかさを高めるための運動
- ・体の各部位を大きく広げたり 曲げたりする姿勢を維持する。



○力強い動きを高めるための運動



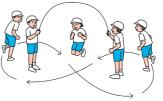
いろいろな姿勢での 腕立て伏臥腕屈伸を する。

○巧みな動きを高めるための運動



馬跳びで跳んだり、馬の下を ・短なわや長なわを用いて くぐったりする。 いろいろな跳び方で跳ぶ。

○動きを持続する能力を高めるための運動



・長なわを用いての

安全に気を配っている様子を取り上げて、称賛する。

◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ⑥場の危険物を取り除くとともに、安全に気を配っている。

➡ 運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や 周囲の安全に気を配っている姿を評価する。(観察・学習

○安全に気を配ることに意欲的でない児童への配慮の例

⇒ 場の危険物や用具の使い方など、安全のために気を配る ことを明確にしたり、グループの仲間と安全について声を かけ合ったり確認したりするなどの配慮をする。

7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ

- 体の動きを高める運動の行い方について、理解したことを書きましょう。
- ・単元の学習で身に付けたいことなど、自己の目標を書きましょう。

○振り返りを発表して、仲間に伝える。

振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付き や考えのよさを取り上げて、称賛する。

◆学習評価◆ 知識・技能

- ②体の動きを高める運動の行い方について,言ったり書 いたりしている。
- → 体力の必要性や体の動きを高める運動の行い方について、 発表したり学習カードに記入したりしていることを評価す る。(観察・学習カード)

○体の動きを高める運動の行い方を理解することが苦手 な児童への配慮の例

- ➡ 個別に関わり、行い方のポイントについて対話をしなが ら確認をするなどの配慮をする。
- 整理運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明すると ともに、けががないかなどを確認する。

5

20

分

- 8 整理運動,場や用具の片付けをする
- 9 集合,健康観察,挨拶をする



本時の目標と展開②(6/12時間)

本時の目標

- (1) 体の柔らかさを高めるための運動,力強い動きを高めるための運動をすることができる。
- (2) 自己の体力に応じて運動の課題や行い方を選ぶことができるようにする。
- (3) 約束を守り、仲間と助け合うことができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点					
	1 集合,挨拶,健康観察をする 2 本時のねらいを理解して,目標を立てる						
	体の柔らかさを高めるための運動と力強い動きを高めるための運動に取り組もう						
10	○本時のねらいを理解して、自己の目標を立てる。3 場や用具の準備をする○グループで協力して、準備をする。	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。●役割分担や安全な準備の仕方を確認する。					
	4 準備運動, 体ほぐしの運動をする ○グループで準備運動をする。 ○ペアやグループで体ほぐしの運動をする。	けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。学習した運動の中から選んだ体ほぐしの運動の行い方について、 実際に動いて示しながら説明する。					
	5 体の柔らかさを高めるための運動をする○体の柔らかさを高めるための運動の行い方を理解する。○ペアやグループで体の柔らかさを高めるための運動をする。	●体の柔らかさを高めるための運動の行い方について、学習資料や ICT 機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。					
		方の例)用具などを用いた運動 長座の姿勢で上体を曲げ、体の周りでボールを転がす。 ・短なわを折り曲げて、両手で足の下・背中・頭上・腹部を通過させる。					
15	○体の柔らかさを高めるための運動の工夫の仕方を理解する。○自己の体力に応じて運動の行い方を選んで、体の柔らかさを高めるための運動をする。	 体の柔らかさを高めるための運動の工夫の仕方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。 ◆学習評価◆知識・技能 ③体の柔らかさを高めるための運動をすることができる。 					
	体の柔らかさを高めるための運動の 工夫の仕方の例 ○用具などを用いた運動	⇒ 自己の課題を踏まえ、体の柔らかさを高めるための運動をしている姿を評価する。(観察)					
		◎体の柔らかさを高めるための運動が苦手な児童への配慮の例⇒ 空間を広げたり、十分な曲げ伸ばしができなくても操作しやすい用具を用いたりするなどの配慮をする。					
	・息を吐きながらゆっくりと上体を曲げ、体の近くでボールを転がす。 ○体の動きを高めるために自己や仲間が考えたことを伝える。	●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。					

6 力強い動きを高めるための運動をする

- ○力強い動きを高めるための運動の行い方を理解する。
- ○ペアやグループで力強い動きを高めるための運動をする。

○力強い動きを高めるための運動の工夫の

○自己の体力に応じて運動の行い方を選ん で、力強い動きを高めるための運動をする。

力強い動きを高めるための運動の

○人や物の重さなどを用いた運動

いに持ち上げたり運

んだりしながらじゃ

んけんをする。

仕方を理解する。

工夫の仕方の例

●力強い動きを高めるための運動の行い方について、学習資料や ICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。

力強い動きを高めるための運動の行い方の例

○人や物の重さなどを用いた運動



E人組で 5上げた)する。

・全身に力を込めて登り棒につかまったり、肋木や雲梯でぶら下がったりする。

二人組,三人組で 互いに持ち上げた り運んだりする。

○課題の解決の仕方が分からないために意欲的でない児 童への配慮の例

- ⇒ 自己の課題を仲間に伝え、仲間からの助言を受けたり、同じような課題をもっている仲間の行い方の真似をしたりすることができるよう、ペアやグループの編成の仕方を工夫するなどの配慮をする。
- 力強い動きを高めるための運動の工夫の仕方について、学習資料 や ICT 機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明 する。
- ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ⑤力強い動きを高めるための運動をすることができる。
- → 自己の課題を踏まえ、力強い動きを高めるための運動を している姿を評価する。(観察)

○力強い動きを高めるための運動が苦手な児童への配慮の例

- ⇒ 自己ができる距離や時間などで行い、徐々に距離や時間などを増やすようにするなどの配慮をする。
- ○体の動きを高めるために自己や仲間が考●考えたことを伝える。

全身に力を込め

て登り棒につか

まったり, 肋木 や雲梯でぶら下 がったりする。

P仲間が考 ┃●考えたことを伝えていることを取り上げて,称賛する。

7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ

本時の振り返り

5

分

15

分

- ・自己の体力に応じて選んだ運動と,できた回数などの成果を書きましょう。
- ・運動の行い方を工夫することについて、気付いたことや考えたことを書きましょう。

○振り返りを発表して、仲間に伝える。

振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付き や考えのよさを取り上げて、称賛する。

◎考えたことを伝えることが苦手な児童への配慮の例

- → 個別に関わり、仲間のよい取組を見付けたり仲間のよい 考えに気付いたりしたことを聞き取って、仲間に伝えることを支援するなどの配慮をする。
- 適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。

8 整理運動,場や用具の片付けをする

9 集合,健康観察,挨拶をする

-5-

本時の目標と展開③(8/12時間)

本時の目標

- (1) 巧みな動きを高めるための運動,動きを持続する能力を高めるための運動をすることができるようにする。
- (2) 自己の体力に応じて運動の課題や行い方を選ぶことができるようにする。
- (3) 仲間の気付きや考え、取組のよさを認めることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点				
	1 集合,挨拶,健康観察をする 2 本時のねらいを理解して,目標を立てる					
10	巧みな動きを高めるための運動と動きを持続する能力を高めるための運動に取り組もう					
	○本時のねらいを理解して、自己の目標を立てる。3 場や用具の準備をする	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。				
分	○グループで協力して、準備をする。4 準備運動、体ほぐしの運動をする	●役割分担や安全な準備の仕方を確認する。				
	○グループで準備運動をする。○ペアやグループで体ほぐしの運動をする。	●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。●学習した運動の中から選んだ体ほぐしの運動の行い方について、 実際に動いて示しながら説明する。				
	5 巧みな動きを高めるための運動をする○巧みな動きを高めるための運動の行い方を理解する。○ペアやグループで巧みな動きを高めるための運動をする。	● 巧みな動きを高めるための運動の行い方について,学習資料や ICT 機器を活用したり,実際に動いて示したりしながら説明する。				
		の用具などを用いた運動 投げ上げたボールを姿勢や 位置を変えて捕球する。 ・用具をコントロールしながら投げる、 捕る、回す、転がすなどする。				
15 分	○巧みな動きを高めるための運動の工夫の 仕方を理解する。○自己の体力に応じて運動の行い方を選ん で、巧みな動きを高めるための運動をする。	巧みな動きを高めるための運動の工夫の仕方について、学習資料や ICT 機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。◆学習評価◆ 知識・技能				
	巧みな動きを高めるための運動の工夫の仕方の例○用具などを用いた運動	④巧みな動きを高めるための運動をすることができる。⇒ 自己の課題を踏まえ、巧みな動きを高めるための運動をしている姿を評価する。(観察)				
	・投げ上げたボールを前転して捕球する。	◎巧みな動きを高めるための運動が苦手な児童への配慮の例→ 用具や行い方を変えながら繰り返し行い、易しい動きから徐々に動きが高まっていくようにするなどの配慮をする。				
	・扱り上りたホールを削転して抽味する。○体の動きを高めるために自己や仲間が考えたことを伝える。	●自己の体力に応じた運動の行い方を選んでいることや、考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。				

6 動きを持続する能力を高めるための運動 をする

- ○動きを持続する能力を高めるための運動 の行い方を理解する。
- ○ペアやグループで動きを持続する能力を 高めるための運動をする。
- 動きを持続する能力を高めるための運動の行い方について、学習 資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら 説明する。

動きを持続する能力を高めるための運動の行い方の例

○時間やコースを決めて行う全身運動

○動きを持続する能力を高めるための運動

○自己の体力に応じて運動の行い方を選ん

動きを持続する能力を高めるための

○時間やコースを決めて行う全身運動

で、動きを持続する能力を高めるための

の工夫の仕方を理解する。

運動の工夫の仕方の例

運動をする。



15

分

・先生が示したステッ プやジャンプなどの 運動でエアロビクス を行う。



◎達成感をもてないために意欲的でない児童への配慮の例

- → 運動の記録をとるようにしたり、わずかな変化を見付けて称賛したりしながら、自己の体の動きが高まっていることに気付くことができるようにするなどの配慮をする。
- 動きを持続する能力を高めるための運動の工夫の仕方について、 学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。

◆学習評価◆ 知識・技能

- ⑥動きを持続する能力を高めるための運動をすることが できる。
- ⇒ 自己の課題を踏まえ、動きを持続する能力を高めるための運動をしている姿を評価する。(観察)

◎動きを持続する能力を高めるための運動が苦手な児童 - への配慮の例

- ⇒ 自己が運動を続けることができる回数や時間などで行い、 徐々に回数や時間などを増やすようにするなどの配慮をする。
- ○体の動きを高めるために自己や仲間が考 ●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。

7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ

取り上げる運動や反復回数を増やして、一定のコースをかけ足で移動する。

本時の振り返り

えたことを伝える。

- ・自己の体力に応じて選んだ運動と、できた回数などの成果を書きましょう。
- ・運動の行い方を工夫することについて、気付いたことや考えたことを書きましょう。

○振り返りを発表して、仲間に伝える。

振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付き や考えのよさを取り上げて、称賛する。

◎仲間の考えや取組を認めることに意欲的でない児童へ の配慮の例

- ➡ 発表を聞こうとしなかったり、仲間の取組を否定することを言ったりする児童には、人はそれぞれ違いがあり、それを認めることが大切であることを伝えるとともに、自己の体力に応じた課題や行い方を選んでいるそれぞれの取組のよさを取り上げて、気付くようにするなどの配慮をする。
- 8 **整理運動,場や用具の片付けをする** 適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。

9 集合,健康観察,挨拶をする

-7-

本時の目標と展開4 (12/12時間)

本時の目標

- (1) ねらいに応じて、体の動きを高めるための運動をすることができるようにする。
- (2) 体の動きを高めるために自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えることができるようにする。
- (3) 体の動きを高める運動に積極的に取り組むことができるようにする。

本時の展開

		lighted to a company to					
時間	学習内容・活動	指導上の留意点					
	1 集合,挨拶,健康観察をする 2 本時のねらいを理解して,目標を立てる						
	自己の体力に応じた課題や行い方を選んで運動に取り組み、学習のまとめをしよう						
10	本時のねらいを理解して、自己の目標を立てる。3 場や用具の準備をする	●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。					
	○グループで協力して、準備をする。4 準備運動、体ほぐしの運動をする	●役割分担や安全な準備の仕方を確認する。					
	○グループで準備運動をする。○ペアやグループで体ほぐしの運動をする。	●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。●学習した運動の中から選んだ体ほぐしの運動を、実際に動いて示しながら説明する。					
	5 体の動きを高める運動をする 自己の体力に応じて運動の課題や行い方を選んで、体の動きを高める運動をする。						
25	場の設定の仕方の例	力強い動きを高める ための運動					
	5 巧みな動きを高める ための運動	動きを持続する能力を高めるための運動					
分		●体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている様子を取り上げて、称賛する。					
		◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ④体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。					
		⇒ ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める運動に積極艇に取り組もうとしている姿を評価する。(観察・学習カード)					
	○体の動きを高めるために自己や仲間が考えたことを伝える。	●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。					
	6 単元を振り返り、学習のまとめをする						
10	単元の振り返り ・自己の体力に応じて選んだ運動と、できた回数・単元の学習の目標で、達成したことを書きまし、学習したことで、今後の学習や生活の中で取り	ょう。					
分	○振り返りを発表して、仲間に伝える。	●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付き や考えのよさを取り上げて、称賛する。					
	7 整理運動,場や用具の片付けをする	● 適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。					
	8 集合,健康観察,挨拶をする						

体の動きを高める運動の取扱い

【第6学年における指導と評価の計画(例)】

	時間	1	2 · 3	4	5 • 6	7 • 8	9~11	12
ねらい 学習活動		学習の見通し をもつ	運動の行い方を 工夫して体ほぐし の運動を楽しむ	学習の見通し をもつ		方を工夫して める運動を楽しむ	自己の体力に 応じた運動を 選んで楽しむ	学習のまとめ をする
		オリエン テーション 学習の見通 し学習の見め ・学習の道め 方 ・学習の約束 (体ほぐしの 運動 学級全する	体ほぐしの 運動	オリシン デー 学習のもの ・学育 習の動も ・学育 習の動き運体 ・学育 のめ級 ・学育 でする ・学のののででである。 ・学のののでである。 ・学のののでである。 ・学のののでである。 ・学のののでである。 ・学のののである。 ・学のののである。 ・学のののである。 ・学ののである。 ・学のののである。 ・学のののである。 ・学のののである。 ・学ののである。 ・学ののである。 ・学ののである。 ・学ののである。 ・学のである。 ・学のである。 ・学のである。 ・できましている。 ・できまましている。 ・できまましている。 ・できまままままま。 ・できままままままままままま。 ・できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	体の動きを高める運動 「巧みな動きを高めるための運動・いろいるで運動・体力に応じて行い方を選ぶ 一対強い動きを高めるための運動・体力に応選ぶ 一対強い動きを高めるための運動をする。 ・ いろいろな運動をする。 ・ 体力に応じて行い方を選ぶ	体の動きを高める運動	体の動きを高める運動 自己の体力に応じた運動をする ・体力に応じて行い方を遅れたではが、一角にのはででではが、一角にのででありたではが、一角にのでする。・自己の体力に応じた運動を工夫に適した。課題や行い方を工夫する	学習の まとめ 自己の体力に 応じた運動を する 単元のまとめ をする
評価	知識・技能	① 観察·学習カード		② 観察·学習カード	③・⑤ 観察	④・⑥ 観察		
の	思考・判断・表現		①・③ 観察・学習カード				② 観察·学習カード	④ 観察·学習カード
重点	主体的に学習に 取り組む態度		① 観察・学習カード	⑥ 観察・学習カード	④ 観察・学習カード	③ 観察・学習カード	② 観察・学習カード	⑤ 観察・学習カード

【体の動きを高める運動の単元の取扱い】

●年間を通して指導すること

本手引では、体ほぐしの運動と体の動きを高める運動を合わせた指導と評価の計画を示していますが、上記の計画を参考に授業を行う際は、学校の実態などに応じてある程度の時間で数回に分けて年間指導計画の中に位置付けるなどの工夫をしましょう。

【体の動きを高める運動の内容の取扱い】

2学年間にわたって指導すること

小学校学習指導要領に『「A 体つくりの運動」については、2学年間にわたって指導するものとする。』とあるように、高学年の「体の動きを高める運動」は、第5学年と第6学年の両方で指導するように学校の年間指導計画を作成しましょう。

第6学年は、第5学年で取り扱った運動を行うことでこれまでの学習を思い起こしたり、新たな運動を行ったりするなど、本手引を参考にするなどして第6学年に適した運動を選んで取り扱うようにするとともに、自己の体力に応じた運動の課題や行い方を選んで活動をする時間を十分に設けるようにしましょう。

体の柔らかさ及び巧みな動きを高めることに重点を置いて指導すること

体の動きを高める運動は、直接的に体力の向上をねらいとして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高まるための運動を行いますが、高学年は児童の発達の段階を踏まえ、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動に重点を置いて指導するようにしましょう。

●運動領域と保健領域との関連を図る指導に留意すること

体の動きを高める運動に限らず、各運動領域の内容と保健「病気の予防」の内容とを関連付けて指導するようにしましょう。特に、全身を使った運動を日常的に行うことが、現在のみならず大人になってからの病気の予防の方法としても重要であることを理解することと、各運動領域において学習したことを基に日常的に運動に親しむことを関連付けるなど、児童が運動と健康が密接に関連していることに考えをもてるように指導しましょう。

【体の動きを高める運動の評価】

●各領域と同じく、技能に関する評価規準を設定すること

体の動きを高める運動の指導内容は、「知識及び運動」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」としています。これは、体の動きを高める運動は、体の様々な動きを高めることが主なねらいであり、特定の技能を示すものではないことから、各領域と同じ「知識及び技能」ではなく、「知識及び運動」としているものです。

一方で、評価においては、各領域と同じく「知識・技能」の評価の観点に技能に関する評価規準を設定して、体の動きを高める運動で培う様々な体の動きができることを評価しましょう。